

一般財団法人 かわさき市民しきん

2015年度 事業報告書

1. 「かわさき市民しきん」の目的

当法人は、市民や企業の志のある寄付を募り、社会の課題解決や地域の活性化などの公益活動を応援し、川崎を誰もが暮らしやすく、人や命にやさしい地域にすることを目的とする。

2. 「かわさき市民しきん」が目指すもの ～「かわさき市民しきん」が目指す未来の川崎～

- ・寄付することが“自然”、“かっこいい”と思う市民が増える。
- ・市民自らの手で、川崎というコミュニティを豊かで快適にしていこうという気持ちが集う。
- ・コミュニティのなかで市民の「お金」がスムーズに循環し、自立して持続できる社会となる。
- ・寄付し、寄付されることで、市民の生活や気持ち豊かで、快適になることを市民自身が実感できる。
- ・市民が積極的にかかわり、ワクワクして、サポートしたいと感じるプロジェクトに「お金」が集まる。

3. 2015 年度を振り返って

2015年5月に市民からの寄付をもとに一般財団法人を設立し、1年弱の活動を行ってきました。上記の目的で活動を行う財団への賛助会員を募りました。

また、[事業支援しきんあとおし]では、4つの対象事業を選考し、寄付者が共感した事業を指定して寄付を募る活動を行ってきました。

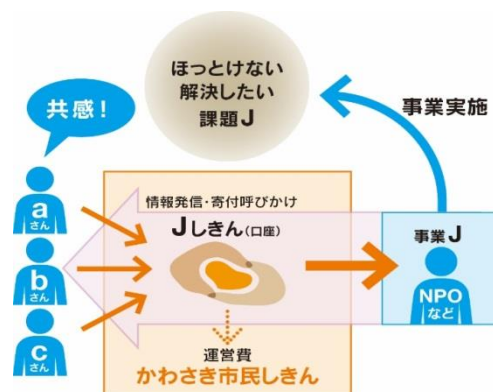
[共感共鳴しきん えんたく]では、オープンミーティングを開催するための事前の周知のための活動として、キックオフミーティングを開催し、実際のオープンミーティングの開催は、翌年度に実施することとしました。

公益財団法人の認定を受けられるよう昨年12月に申請しましたが、継続審議となり、1年目での取得はできず、2016年度以降に持ち越しとなりました。

4. かわさき市民しきんの主な事業内容

(1) 助成プログラムの実施

① 事業支援しきん あとおし



「川崎で今、何が必要か?」「川崎の課題は何か?」。実際に川崎市内で活動するNPOなどから、今必要とされている事業を募集します。そして、「かわさき市民しきん」を通して、それを広く市民に訴えその解決策(=NPOなどが行う取り組み)への寄付金を事業ごとに集めます。寄付者は支援したい事業を選んで寄付をします。集まった寄付金から運営経費(寄付金の15%)を引き、それぞれの事業に助成します。

◆2015年度の「あとおし」実施実績

「一般財団法人かわさき市民しきん」(以下当財団)の初めて事業として、財団設立後すぐに取り組みました。市民による市民のための新しいお金の流れをつくるための最初の一步として、地域の課題解決や活性化のためにNPOなどの市民活動団体が行う事業を助成対象としたこのプログラムは文字通り、市民の思いを“あとおし”するお金を募り、助成するものです。

対象事業を公募し、選考し、決定し、寄付集めをするわけですが、初めてのことなので、当然ながら選考委員をお願いすることから行いました。当財団理事でもある大学教授、元市民活動センタースタッフ、公認会計士など、専門的にも適任な、そして年代も20代~50代までの方々5人をお願いすることができました。(名簿参照)

助成対象事業の募集説明会は北部、中部、南部の市内3か所で開催しました。

(募集期間7月16日~8月20日)

- ・7月16日(木)夜 専修大学サテライトキャンパス(向ヶ丘遊園駅前)
- ・7月18日(土)午後 高津市民館会議室
- ・7月24日(金)夜 NAGAYAかわさき(当財団事務所、川崎駅徒歩7分)

応募数は6事業で、9月30日に選考委員会を開催し以下の4事業を選考し、理事会で決定しました。

- ① 今、「あなたは大切な人」と伝えたい! 中学生向け暴力防止プロジェクト
実施団体: 認定NPO 法人エンパワメントかながわ
- ② ワクワク・ドキドキの「就労体験」をハンディを持った方々にピープルデザイン川崎プロジェクト
実施団体: NPO 法人ピープルデザイン研究所
- ③ 夢と勇気を持ち、生き生きと自己実現へ向かっていく川崎の子どもを増やしたい!
実施団体: 認定NPO 法人キーパーソン21
- ④ 「川崎南部、在日コリアンの生活史を市民の宝物に!」映像制作と交流事業
実施団体: かわさきの在日高齢者と結ぶ2000人ネットワーク

10月5日に当財団の評議員でもあるPublicoの長浜洋二さんを講師に、助成対象団体向け「寄付促進のための研修会」を行いました。それをもとに助成対象団体とともに寄付募集計画をつくり、そして寄付ブック(カタログ)を作りました。

ドネーションパーティを12月5日に開催、50名の参加が得られました。寄付募集期間は11月~2月でしたが、実質的にはその日がキックオフのようになってしまい、最初の盛り上がりを見逃しました。実際の時期別受付寄付額は11月が全体の4%、3月が62%となっており、最初の取り組みの失策が表れてしまいました。また、飲食店に呼びかけて「カンパイチャリティ」での寄付募集を企画しましたが、準備不足でできませんでした。募金箱は市内8か所に置かせていただき、募金額は総計16,540円で、4事業に均等割りしました。今後は計画的に取り組む必要があります。

寄付募集期間には各区の区民活動フェアなどでのアピール、地域教育会議への働きかけ、とどろきアリーナで行われた「よしもと×川崎市総合型スポーツクラブ大運動会」、かわさき市民活動センターの「ごえん楽市」などへの出展、各団体が主催したイベントへの応援を行いました。

寄付実績は以下の表の通りです。達成率は71%から20%と差が開いていますが、目標額に達した事業はなく、残念ながら当財団の認知度の低さを実感しました。

	寄付金額	助成金額	目標金額	人数	達成割合
①	425,824 円	361,950 円	600,000 円	59 人	71.0%
②	157,135 円	133,565 円	730,000 円	32 人	21.5%
③	235,135 円	199,865 円	1,200,000 円	38 人	19.6%
④	418,135 円	355,415 円	1,000,000 円	45 人	41.8%
合計	1,236,229 円	1,050,795 円	3,530,000 円	(174 人) *114 人	35.0%

*は実際の寄付者数()内は延べ人数/同じ人が複数の事業に寄付

いずれの団体も目標額には達しませんでした。助成金の範囲内で規模を若干縮小したり、自己資金や新たな寄付金などを足して、助成事業を行うことになりました。

事業実施団体からは、助成金は目標に達しなかったけれど、新しい方たちとの出会いができ、今後の活動に広がりを持つことができた、というような意見が出されました。

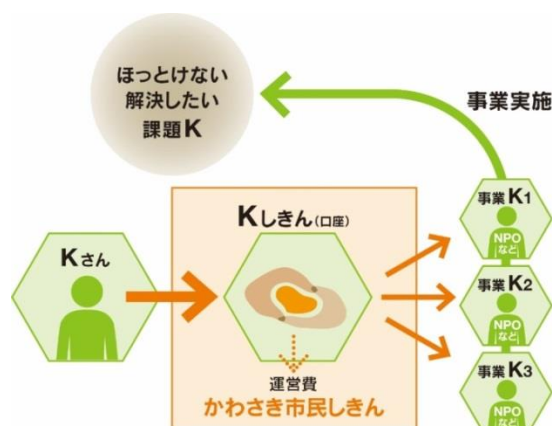
寄付者の分析として以下のような結果がでました。居住区別では特別な差異が認められませんでした。

- ・年齢/40代～50代：51%、60代以上：37%、20代～30代：12%
- ・居住地/川崎北部4区：23%、川崎南部3区：21%、横浜市：20%、東京都：17%、その他：18%
- ・寄付のきっかけ/友人・知人の紹介：45%、対象団体の活動を通して：35%、イベント参加：8%、HP・SNSで知って：5%、その他：7%
- ・寄付の方法/振り込み：52%、現金：25%、クレジット：23%
- ・寄付の時期/2月：62%、1月：18%、12月：15%、11月：4%
- ・寄付額/最小額：1,000円、最高額：161,000円、最頻額：10,000円

◆選考委員名簿 (◎：委員長 ○：副委員長)

- 柏野晃平 公認会計士事務所アクセル、プロボクサー
- ◎神原 理 専修大学商学部教授
- 杉原志保 NPOサポートセンター
- 千葉晋也 世田谷まちづくりファンド運営委員、石塚計画デザイン事務所
- 林 弘二 日本政策金融公庫川崎支店

②意思実現しきん いしづえ

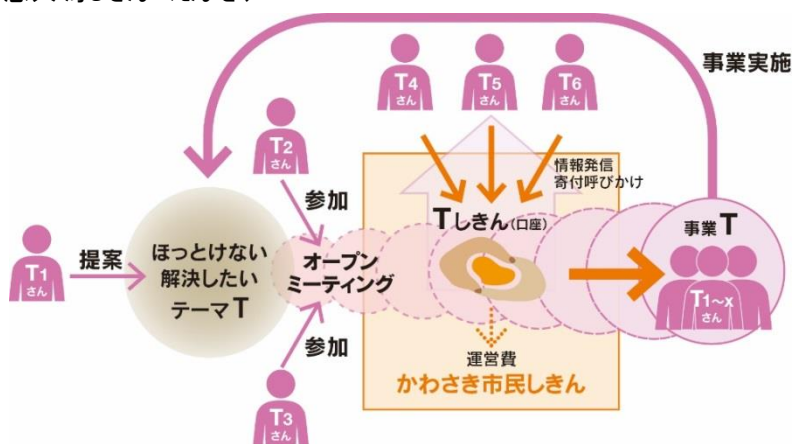


特定の目的のための“しきん”を「かわさき市民しきん」がお預かりし、その目的のために活動するNPOなどへ助成をするプログラムです。あなたの思いを形にして残すことができたり、故人の思いを後世に伝えることもできます。名称は自由に付けることができ、助成対象やテーマを指定することができます。

- ・創業などの周年事業として、地域社会への恩返しを目的とした助成
- ・家族のご逝去にあたり、その方の志を残すための助成

◆2015年度は、いしづえの実績はありませんでした。

(2)調査研究事業 共感共鳴しきん えんたく



独自のテーマ設定で川崎のさまざまな活動を調査・研究するプログラムです。「こども」「環境」「介護」など、川崎が抱える課題の解決や地域の活性化を目指すテーマを「かわさき市民しきん」とともに提案し、運営に関わることができます。提案者は助成に必要な資金を「かわさき市民しきん」と一緒に集め、主体的にプログラムを展開します。

◆2015年度「えんたく」の実施実績

さまざまな課題意識、興味・関心を持つ人が集まり、自分たちで始められそうな「じもとムーブメント」を考え、議論し、発表しする場である「オープンミーティング」をスタートするために、キックオ

フミーティング「じもとムーブメンターナイト」を開催しました。参加者は、新たに生まれるプロジェクトをサポートするための「メンター」となる方で、地域で活躍している方に呼びかけ、30名の方が参加しました。これをきっかけに、新たに活動を始めたいと考えている方に広くオープンミーティングへの参加を呼びかけました。オープンミーティングは2016年度の事業として開催します。

実施内容：キックオフミーティング「じもとムーブメンターナイト」の開催：3/14（参加者30名）
オープンミーティングへの呼びかけ開始 3月

(3) 賛助会員制度

上記の事業を実施するために、趣旨に賛同する企業や個人を対象に、賛助会員制度を設けます。このような寄付を促進し、社会の課題解決や地域の活性化をしていく財団法人「かわさき市民しきん」のプログラム自体に賛同し、応援してくださる方を対象とします。

① パートナー賛助会員 年会費 50万円

企業にとっても、CSR活動や人材育成の活性化につながるよう、プログラムに様々な形で参加できる制度。

企業の人材育成＝プロボノ参加（若手、シニア社員）、協働CSRマーケティングなどの価値を、地域課題解決に取り組むNPOなどへの支援を行う中で一緒に共創します。

② 賛助会員 企業・団体 1口1万円、5口以上で賛助会員証を発行。

③ 個人会員 1口5千円

◆2015年度実績

① 実績なし、② 2団体、③ 29名

①、②の法人会員については、公益法人になってからお願いした方が良いという判断で、積極的に勧誘をしませんでした。

(4) 寄付者獲得プロジェクト

川崎市内で趣旨説明や寄付を募る「市民しきんマーケット」の開催、募金箱の設置、寄付付き商品の開発・販売、寄付者と助成団体の交流会の開催等を行いました。

あわせて、かわさき市民しきんが集めた寄付金の使われ方が広く見えるよう、寄付の「見える化」を推進するための「市民しきんサイト」の運営を開始しました。

スケジュール：市民しきんマーケットの開催 2015年度は2回（7月と1月）

HPの開設 2015年11月

あとおしの寄付募集のための募金箱の設置（北部を中心に10か所に設置）

あとおしドネーションパーティーの開催 2015年12月